

2026年度 一般編入学（後期）試験 経済学部 小論文

新聞記事から抜粋した以下の3つの文章を読んで、設問に答えなさい。

2025年度の最低賃金が決着した。7日に退陣表明した石破茂首相は「2020年代に全国平均1500円」の実現に向け大幅な引き上げを促した。結果的に6円増の1121円と過去最高の伸びを記録し、国の目安を上回る地域も相次いだ。

消費者物価の総合指数を7月について地域別にみると、5年前に比べて東京都区部は10・8%上昇した。人口5万人未満の「小都市B・町村」は12・8%上昇、人口15万人以上100万人未満の「中都市」は11・6%上昇と、東京を上回るインフレ率だ。家計調査をみると、地方は「交通・通信」や「光熱・水道」の支出額が大きい。

「明確な賃金格差が、若年層を中心とする人材流出の要因の一つとなっている」「中略…」
似た認識は多くの行政のトップが抱く。25年度は山梨をはじめ群馬や福井など全国各地の知事が審議会に目安を上回る引き上げを要請した。

（日本経済新聞2025年9月10日朝刊「時給1000円超時代（上）」）

設問

次の①②について、合計800文字以内で説明しなさい。

①2025年度の最低賃金の伸びには、どのような背景があったと考えられるか。

②最低賃金の上昇はこれからの日本経済にどのような影響を及ぼすと考えられるか。

注意事項

- 一 解答の字数が少ない場合は減点する。
- 二 解答は縦書きとする。横書きしたものは無効とする。